



# 国民春闘共闘

第2号  
2021年11月8日

国民春闘共闘委員会  
〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館  
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

## 年末一時金 第1回集計

**単純平均 1.95ヵ月 591,381円、加重 557,993円**

**前年同期比 単純+121,332円・加重+137,319円**

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は11月5日、第1回の年末一時金集計を行いました。

### <回答状況>

	2021年	2020年同期
回答引き出し組合	402	276
うち 妥結組合	97(24.1%)	33(12.0%)

### <要求と回答内容>

集計方法&対象		2021年回答	2020年同期	同期比
単純平均	月数	1.95	1.69	0.26
	額(円)	591,381	470,049	121,332
加重平均	額(円)	557,993	460,071	137,319
	組合員数	92,238	64,089	

### <前年実績との比較が可能な組合における金額・率の比較>

		組合数	うち前年実績以上	21年回答	20年実績	実績比
単純平均	月数	324	257(79.3%)	1.95	1.86	0.09
	額(円)	219	147(67.1%)	601,510	581,430	20,080

### <非正規の仲間の回答状況>

		時給制	月給制	再雇用・時給制	再雇用・月給制
単純平均	月数	1.026	1.430	—	1.787
	額(円)	67,421	272,663	75,000	291,180

※額または率のみの報告があるため、双方は連動しません。

※言葉による回答は平均などの計算から除いています。

## <集計結果の概要>

### 回答引出し・妥結状況

11月5日の年末一時金第1回集計には、別表の17単産・部会から報告が寄せられました。402組合が何らかの回答を引き出し、そのうち金額もしくは月数などが明らかになっている組合(有額回答)は377組合となっています。

### 回答内容

回答月数が判明している342組合での単純平均(一組合あたりの平均)は1.95ヵ月で、前年同期(20/11/6、1.69ヵ月)を0.26ヵ月上回っています。回答金額が判明している238組合の単純平均は、591,381円で前年同期(470,049円)を121,332円上回っています。また加重平均(組合員一人あたりの平均)は557,993円となっています。

回答月数の前年実績が明確にわかっていて同一組合での対比が可能な324組合の単純平均を前年実績と比べると、1.95ヵ月で、前年実績(1.86ヵ月)を0.09ヵ月上回っています。額では219組合の単純平均で、601,510円で前年実績(581,430円)を20,080円上回っています。

昨年、コロナ禍を口実にして一時金が大幅に下げられた傾向であったことから、各組合が職場の要求を背景に奮闘し、前年実績を上回っていますが、コロナ禍前の水準を取り戻すには至っていません。

### 非正規で働くなかまの賃上げ状況

非正規ではたらく仲間の一時金獲得は、別表の4単産79組合から127件の獲得報告が寄せられています。

このうち、時給制労働者の一時金獲得では、JMITU、生協労連、出版労連、日本医労連から73件の獲得報告となっています。月数報告のあった58件の単純平均は1.026ヵ月で、前年最終(0.912ヵ月)を0.114ヵ月上回っています。なかでもJMITU、出版労連の組合から、パート職員の月数を正社員と同数支給を勝ち取った方向が寄せられています。

また、金額報告のあった30件の単純平均は67,412円で、前年最終(47,821円)を19,591円上回っています。

月給制労働者では生協労連で43件の獲得となり、月数の単純平均は1.430ヵ月、金額で272,663円となっています。

時給制の継続雇用者では、出版労連で2件の引き出しとなり、75,000円となっています。

月給制の継続雇用者では9件の引き出しとなっています。月数の単純平均で1.787ヵ月、金額では291,180円となっています。